九州大学大学院工学府における博士学位論文の申請資格について

令和6年12月17日現在

専攻名	申請資格
材料工学専攻	博士論文を執筆するにあたり、厳正な査読システム（peer-review）を得て掲載される国際的学術雑誌において第一著者として研究論文が発表されていること、あるいは、受理（アクセプト）されていること。
応用化学専攻	・査読システムを有する国際的学術雑誌に、第一著者として研究論文が2報受理されていること。（但し、教員が第一著者であり、主たる貢献をした学生が共著者の場合は専攻内で協議の上、認める。） ・リサーチプロポーザルに合格していること。
化学工学専攻	国際的学術雑誌において、第一著者として研究論文が1編以上受理されていること。 ただし、専攻教授会において承認された場合には、厳正な査読がある国内の全国的学術誌への掲載でも審査要件を満たしていると認める。
機械工学専攻	国際学術雑誌において第1著者として論文が1編以上あること。 該当論文は博士論文申請時に掲載が決定していればよい（掲載時期は問わない）
水素エネルギーシステム専攻	国際学術雑誌において第1著者として論文が1編以上あること。 該当論文は博士論文申請時に掲載が決定していればよい（掲載時期は問わない）
航空宇宙工学専攻	以下のすべての要件を満たす必要がある。 (1) 当専攻の関連分野において、新規性、独創性と十分な学術的価値を持つと主査予定教員が認める学位論文を候補者がまとめていること。 (2) 当該内容の論文で査読のある国際的学術誌に第一著者として2編以上の発表論文があること。ただし、うち1編は査読のある国際会議論文集の発表論文でも可とする。または、Top10%ジャーナルに第一著者として1編以上の発表論文があること。当該内容の学術論文については、掲載可であればよい。
量子物理工学専攻	少なくとも1本以上の査読付きの第一著者論文（プロシーディングスを含む）が公表済みか公表が確定していること。
船舶海洋工学専攻	博士論文を執筆するにあたり、それを構成する主要部分が厳正な査読システムを経て掲載される国際的学術雑誌において、第一著者として研究論文が発表されていること、或いは受理（アクセプト）されていることを原則とする。
地球資源システム工学専攻	博士論文を執筆するにあたり、それを構成する主要部分が厳正な査読システム（peer-review）を経て掲載される国際的学術雑誌において第一著者として研究論文が発表されていること、或いは、受理（アクセプト）されていることを原則とする。
土木工学専攻	博士論文を執筆するにあたり、それを構成する主要部分が厳正な査読システム（peer review）を経て掲載される国際的学術雑誌において第一著者として研究論文が発表されていること、或いは、受理（アクセプト）されていることを原則とする。